

「ねことあそぼう」(J645才)

太田 さゆり／ぶん・え
大日本図書



にくしょくしゅう
ぼくはこう見えても肉食獣。ぼくの舌や歯は、肉を食べるのに適しているよ。目、鼻、ひげ、足、ぼくの体は、夜にかりをするために、すごい能力をひめているんだ。

ぼくたちは、あそびながらいろんなことを覚えていく。なわばりのための行動とかもね。わかってくれた？

じゃあ、いっしょにあそぼ！

「ネコとなかよくなるうよ」(ELデ)

トミー・デ・パオラ／作 福本 友美子／訳 光村教育図書

シャムネコ、ペルシャネコ、アメリカンショートヘア。世界にはいろんなネコがいる。ネコと人間のつき合いは、古代エジプトからはじまるよ。中世のヨーロッパでは、ネコは魔女の使いなんて言われたことも…。ネコのことをもっと知って、ネコ博士になろうよ。



<さやまの100冊>



「子どものときに読みたい本100冊」(さやまの100冊)は、教育委員会が低学年、中学年、高学年、中学生に向けて25冊ずつおすすめしている本です。ぜひ、読んでみてください。

狭山市立図書館

中央図書館 ☎04-2954-4646 / 狭山台図書館 ☎04-2958-3801

狭山市公式HP <http://www.city.sayama.saitama.jp/>

*図書館のお休みや開館時間等はホームページでご確認ください！

よむぞうタイムズ 80号

3年生 4年生

狭山市立図書館 2021.3.1発行

みんな元気？

春ははじまりの季節。出会いの季節。

今回のテーマは・・・



「ねこと友だちになれたなら」だよ。



「ペンギンは、ぼくのネコ」(JSウ)

ホリー・ウェッブ／作 田中 亜希子／訳 大野 八生／絵 徳間書店

「ペンギン」は、ぼくが2年前にひろって飼っているネコ。となりの家のりんごの木にこっそり登ってあそぶのが、ぼくたちのひみつの楽しみなんだ。ところが、となりの家に孫娘が引っ越してきて、その子がペンギンと仲よしになっちゃった？

だめだめ、ペンギンはぼくのネコなんだから!!



「さかな1ぴきなまのみま」(EEサ)

佐野 洋子／さく・え フレーベル館

おばあさんとくらしていたねこは、ある日「ぼく、ともだちさがしにゆく」と、家を出た。ねこは、1ぴきのへびとであつた。ねこがじゃまにしても、へびはなぜかついて来る。

ぼく、へびなんかじゃなくて、ほんとうのともだちをさがしているんだけど…。

毎月23日は「家庭読書の日」 狭山市教育委員会

「ルドルフとイッパイアッテナ」(JP4)

齊藤 洋/作 杉浦 範茂/絵 講談社

ひょんなことから、長距離トラックではるばる東京下町に来てしまった飼いねこのルドルフ。ねこの親分“イッパイアッテナ”と出会い、ゆかいなのらねこ生活がはじまった。

冒険あり友情ありのとびっきりの物語。

つづきもあるよ。

「ルドルフともだちひとりだち」

「ルドルフといくねこくるねこ」

「ルドルフとスノーホワイト」

「ルドルフとノラねこブッチー」



「黒ネコジェニーのおはなし」 1～3

(JS71～3) エスター・アベリル/作・絵 松岡 享子・張替 恵子/共訳 福音館書店

キャプテンティンカーにひろわれた小さな黒ネコのジェニー。とってもはにかみやで、外に出て他のネコとあそぶことができません。ある日、キャプテンが赤いマフラーをあんでくれた。すると、なんだかむくむくと勇気がわいてきたんだ。

1巻「ジェニーとキャットクラブ」

2巻「ジェニーのぼうけん」

3巻「ジェニーときょうだい」



「ネコのミヌース」(JS7)

アニー・M.G.シュミット/作 カール・ホランダー/絵 西村 由美/訳 徳間書店

はずかしがりやで取材がへたな新聞記者ティベ。ある日、ティベは大きな犬から女の子を助けてあげた。その人ミヌースさんは、今は人間の姿をしているけれど、もとはネコなんだって。

信じられないけど、しぐさはネコそっくりだし、ネコ語もしゃべれる。

ミヌースさんが、町中のネコたちからニュースを集めてきてくれて…。



「むかしむかしとらとねこは…」(EJ4)

中国のむかし話より

大島 英太郎/文・絵 福音館書店

むかしむかし、とらはのろまでまぬけで、えものをとるのがへただった。ねこはすばしこく、えものをとるのがとてもじょうずだった。

とらはねっしんにたのみこみ、代々伝わるねこのヒミツのわざを教

えてもらった。

トクンによって、わざを身につけたとらは、なんと…!!



「ガルドンのながぐつをはいたねこ」(EJ4)

ペロー/原作 ポール・ガルドン/さく たらおか じゅん/やく ほるぷ出版

こなひきやの一番下のむすこが、いさんにもらったのは、いっぴきのねこだった。とほうにくれるむすこにねこが言った。

「ながぐつと、ひものついたふくろをください。そうすれば、あなたを今に幸福にしてさしあげます」知恵と勇気でチャンスをつかめ!



「ねこのさら」(EE1)

柳家小三治・落語「猫の皿」より

野村 たかあき/文・絵 柳家 小三治/監修 教育画劇

道具屋は茶店でねこが、ごはんを食べているのを見ておどろいた。なんとねこの皿は「えこうらいのうめばちのちゃわん」という、たいそう高価な茶わんではないか。

茶店の主人は皿の値打ちを知らないにちがいない。さてここは考えどころだぞ。

